



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

【国内初】「PPA 事業者向け保険パッケージ」の提供を開始 ～再生可能エネルギーの導入拡大を支援し、カーボンニュートラルの達成に貢献～

2022年11月1日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の調達方法の1つとして導入が進む「PPAモデル^{※1}」の普及促進を目的に、発電設備の損壊リスクだけではなく、損壊に起因する再エネや環境価値の代替調達リスクも補償する「PPA事業者向け保険パッケージ」の提供を11月4日より開始します。

※1 Power Purchase Agreement の略で、再エネを導入する企業等の需要家と発電事業者の間で契約する電力購入契約

1. 背景

近年、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが進み、再エネを用いた事業運営が求められるなか、自治体や企業等の再エネ需要家が保有する施設の屋根や遊休地に発電事業者（以下、PPA事業者）が太陽光発電設備を設置し、発電された電力を需要家に供給する「PPAモデル」が注目されています。「PPAモデル」は、需要家にとっては、太陽光発電設備を初期費用なしで設置し、独占して安価に再エネを確保できるメリットがあるため、自治体や企業を中心に導入が拡大しています。

一方、「PPAモデル」では、太陽光発電設備を設置し再エネを作るPPA事業者やそれを使う需要家の他にも、融資を行う金融機関や、実際に電力を需要家に販売する小売電気事業者など、複数のステークホルダーが存在し、契約期間も長期に渡ることから、自然災害による設備の損壊リスクや、設備の損壊により再エネが提供できなくなった際の代替調達リスク等、様々な運営上のリスクが存在します。

当社は、GHGプロトコル等の国際基準に整合したCO₂排出量算出手法の国内における普及を主たる目的とする「一般社団法人炭素会計アドバイザー協会^{※2}」の設立・参画等、カーボンニュートラルに関する様々な取り組みを通じて得られた知見をもとに、PPA事業者を取り巻く6つのリスクを補償する国内初の「PPA事業者向け保険パッケージ」を組成しました。PPAモデルを運営するうえで発生する様々なリスクを補償することで、安全・安心な事業運営を支援するとともに、再エネの利用拡大を通じたカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

※2 CO₂排出量算定手法の国内における普及、および民間企業等による排出量の財務情報への正確な反映等を目的として、株式会社ウェストボックス、中部電力ミライズ株式会社、豊田通商株式会社、日本生命保険相互会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社を中心に設立

< PPAモデルの仕組み >

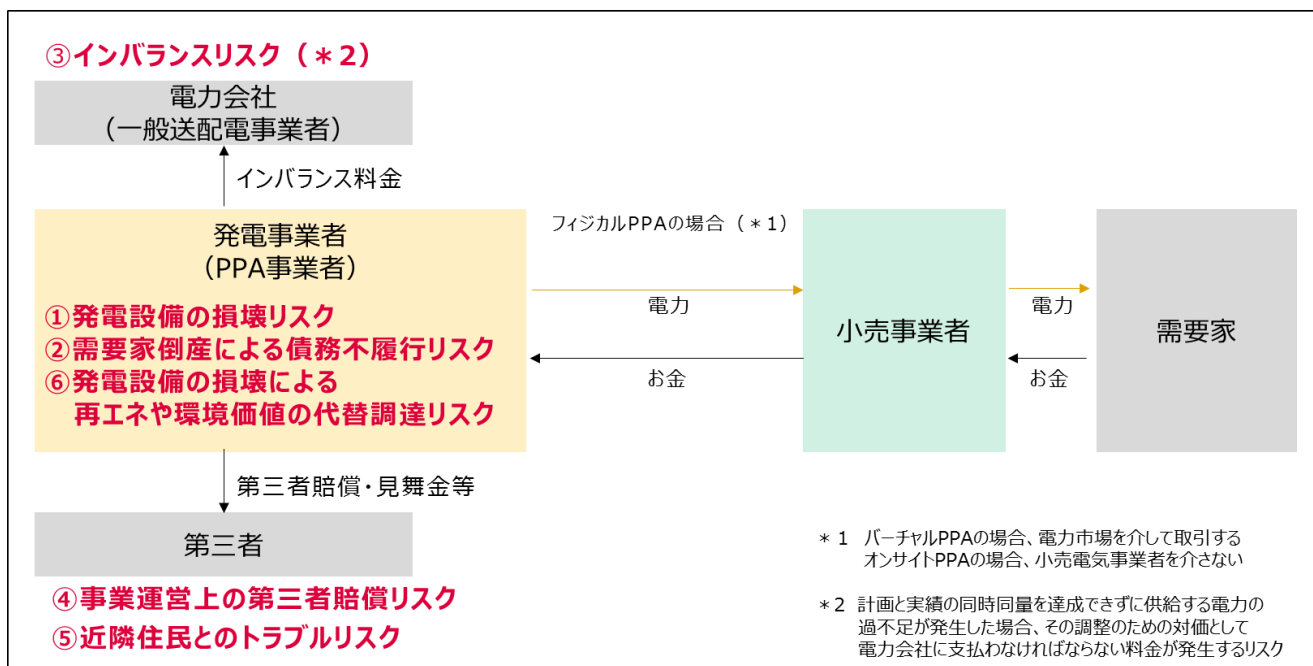


	メリット	デメリット
PPA事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数年の電力購入契約を締結することで、売電収入の予見性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期契約が必要となる ・ 複数のステークホルダーが存在するため運営上のリスクが多岐にわたる
需要家	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期費用なしで太陽光発電設備の導入が可能 ・ 維持管理にかかるコスト、手間が不要 ・ 複数年にわたって再エネ電力の調達が可能 	

2. 「PPA事業者向け保険パッケージ」の概要

太陽光発電設備を保有し事業を行うPPA事業者を対象に、下記6つのリスクを補償します。

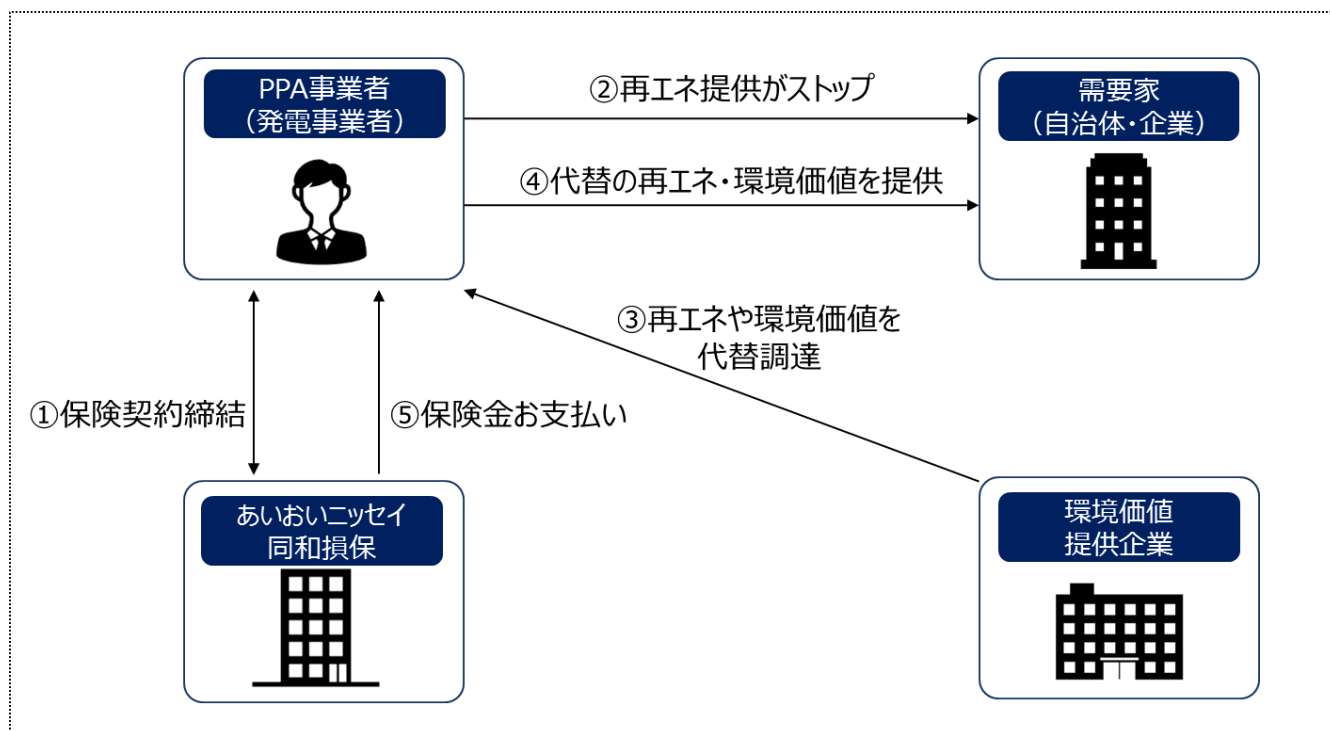
< PPA事業者向け保険パッケージの全体像 >



< 対象リスクと補償内容 >

	対象リスク	補償する内容
①	発電設備の損壊リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事中または輸送中の設備の破損・窃盗による財物損害やそれに伴う操業遅延による損害 ・ 火災、盗難、自然災害等の事故による財物損害
②	需要家の倒産による債務不履行リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需要家の倒産による未払い電気料金等
③	インバランスリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災、自然災害等の事故による財物損害に起因するインバランス費用
④	事業運営上の第三者賠償リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設および発電設備の運転・管理に起因して発生した賠償責任事故
⑤	近隣住民とのトラブルリスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落雷、風災、雹(ひょう)災、雪災により近隣住民等が所有する建物、車両等に損害を与えた場合の見舞金等
⑥	発電設備の損壊による再エネや環境価値の代替調達リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 偶然な発火などにより設備が破損して、再エネが提供できなくなった際に、非化石証書等を使った再エネの代替調達費用

<「再エネや環境価値の代替調達リスク」の補償イメージ>



3. 今後の展開

当社は、「PPA事業者向け保険パッケージ」の提供を通じ、再エネ導入におけるリスクの補償や課題解消の支援を行うことで、カーボンニュートラルの達成に貢献していきます。また、発電設備等の事故の未然防止や早期回復に資するサービスの開発・提供により、全国の自治体や企業とともに地域における再エネの導入拡大に取り組みます。

今後も、CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）を基軸とする商品・サービスの開発をすすめ、お客さま・地域・社会とともに安全・安心な社会の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

